

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したようになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	株式会社 ドリエジョ ヨめさとグループホーム
(ユニット名)	あじさい
所在地 (県・市町村名)	滋賀県蒲生郡日野町西大路字井上434-2
記入者名 (管理者)	青木 澄子
記入日	平成 21年 7月 14日

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>I-1. 理念と共有</b>					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域性や個々それぞれの生活を重要に考えた理念がつくりあげている。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念にあがっていることを中心に考え入居者様や家族の日々の生活を大切にしている。	○	職員のユニフォーム(Tシャツ)に理念を打ち込んだ物を勤務時着用を考案中である。
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居者様が馴染みのある地域の中で安心して暮らしていけるよう、家族様へは入居時、申込時に説明したり運営推進委員会などで地域の方々に知って頂けるよう取り組んでいる。		
理念と共有 3項目中 2項目					
<b>I-2. 地域との支え合い</b>					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々と出会うと気軽に挨拶し合える関係であるが訪問しに来られたりすることは少ない。ただ地域の行事など参加する際は積極的に関わって頂いている。	○	今年度から開催する夏祭りなど事業所から近隣の方との交流の場を設け、より良い関係を築き、日常的な関係への継続を築きたい。
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事には出来るだけ積極的に参加し交流を保っており、毎年の恒例行事には必ずお誘いが来る関係にある。		
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方と触れ合う事が多い職員は地域の情報などを取り入れ、介護サービスなどの相談や説明を随時行っている。また地域の方から依頼され講演の開催、事業所見学、説明なども実施している。		
地域とのつきあい 3項目中 2項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価項目が多い為、主任職員等で前回評価を参照し改善、修正項目を絞り込み見直し案を作成し、現場職員に指示、伝達を行っている。		
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に3回の運営推進委員会を行い、グループホームでの取り組みについて報告し、現状を理解してもらい地域につながるサービス向上に向けて話合っている。	○	今後は二か月に一回の運営推進会議の開催と家族の代表の方の参加も呼び掛ける。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	機会をつくり、グループホームの現在の状況などの把握をして頂くようにしている。また、地域の方でグループホーム対象者の方の相談や入所検討も実施しサービス向上に取り組んでいる。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度への理解など、事業所内のケアマネなどから学び、それに応じて支援している。		
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の業務の中で入居者様の様子を注意しながら確認を行っている。また、スタッフの精神状態にも気を配り、個別に話をする機会を持つ様にし虐待防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時には、十分な話し合いが出来る時間などを設け、家族様の思いなどを聞き、納得していただき同意、契約している。また解約時も同様に不安や疑問が起らぬ様に説明し同意を得ている。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見不満は日々耳を傾ける様に努めており、申し送り、会議などに挙げ早期の対応を実施している。また本人様が発言困難な場合は家族交流会、面会時に家族様に相談を持ちかけている。		
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一度、入居者様の状況を家族様に報告している。また、担当職員が必要に応じ個々に連絡をとり、状況報告、並びに相談を実施している。	○	現在は不定期発行の広報誌の作成の中に家族会で同意を得て写真の掲載を実施している。今後、家族の希望があれば、毎月の手紙発送時に写真の送付も考慮している。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の意見、相談、不満など表わせる様に対応窓口をする職員を設けており、家族様の納得、同意を得た上で現場に申し送りを実施している。	○	家族交流会の開催により、意見交換や家族の気持ちも理解できる様になってきたので、今後も継続し取り組みより良い信頼関係を築きたい。また運営推進会議参加への促しをかけていく予定である。
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のミーティングで職員の意見や提案を出せる場を設け出来るだけ反映している。また内容によっては臨時の会議や担当者による会議を設け、環境・業務の見直しを実施している。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化、要望に出来る限り対応する様、担当職員を設け、業務や職員配置など継続的に見直している。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は十分考え、職員の能力に応じたユニットごとに固定し、顔馴染みの職員によるケアを心掛けている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に応じた研修への参加の取り組みを実施している。また日々の業務に関しても、育成、管理意識向上を図るため、適した職員へ業務の振り分け、教育を実施している。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	立場、担当業務に応じ、交流の場への参加を促している。定期的に行われるグループホーム部会に参加し、情報交換を行っている。		
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	悩みや不安を抱えている職員の相談に乗り説明や希望を聞きながら適した業務や配置を考慮する様に努めている。		
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に3度、担当者による職員査定を行い、賞与に還元している。また査定評価の高いスタッフを正規職員や役職を設けるなどの昇進の実施もしている。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談で生活状況を把握し、本人の不安や思いを聞き入れ、本人に受け入れてもらえるような関係作りができるように努めている。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族様の担当窓口を設け、希望や不安、悩みなどに対応している。また、他の事業所や医師などと連携をとり対応を実施している。		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の必要とする支援を見極め、担当者、専門員、専門医などと連携し適したサービスを行える様に努めている。		
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族、本人のケアマネージャー等と相談し、デイサービスの利用、空室状況にもよるが、短期入所を行い馴染む期間、納得出来る期間を設けている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々のかかわりから学ぶことも多くお互いが協力し支え合いながら生活している。また、関わりをより多く築き関係を深める事が出来る様、業務体制の見直しを実施した。	○	業務体制見直し以降、関わりを持てる時間の確保が出来た。今後はより入居者の理解に励み、同一の対応が出来る様、取り組む。
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いをケアなどの面で一緒に考え協力して頂いている。また、入所時の説明から、家族により差はあるが、外出や食事介助にきて頂くなど、ケア提供の一部を担ってもらっている。		
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時に家族の思いや今までの本人との関係などを聞き入れ理解し担当職員が間に入り橋渡しを行い現在の最善の関係を保てるように心掛けている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	今まで生活されていた馴染みの方々に出会える地 域の交流の場に出かけて行く。また、家族に同意を 得て担当職員が面会者との橋渡しを行い理解を 持った継続した関係作りを行っている。		
31		<input type="checkbox"/> ⑤ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	入居者の方の能力や症状を理解し、個別での ケアや時間によってのユニット移動や職員の 増員を行い利用者間の関係の支えあいと関 係範囲の拡大を行っている。		
32		<input type="checkbox"/> ⑥ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も担当者が必要な関わりを、本人、家 族、退去後の機関の担当者と継続的な連絡を 取り合っており、相談や情報提供に努めてい る。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の思いを伝えることが出来る方と意思疎通が難しい方がおられるが、常に本人の気持ちになって考えるようにしている。意思疎通困難な方は家族への相談も継続的に行っている。		
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前の面接時に今までの暮らしに関わる情報を得るようにしている。		
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録・業務日誌・ケース記録などに記入と看護師、担当職員にも可能な範囲、日々の申し送りに参加してもらい総合的に把握できるように努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
<b>Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族からの意見や関わっているスタッフ同士の話し合いをふまえた上で計画を作成している。		
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じての見直しの実施と突発的な変化が生じた場合は、ユニット各のカンファレンスの意見を基に家族、医師、管理者、で話し合い新たな計画を作成している。		
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の日常生活状況などが記入してあるケース記録などから本人の情報を共有し、介護計画を見直している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 2項目					
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービス、福祉用具、栄養士などの担当職員と連携を図り、本人に身体的、精神的に柔軟な対応が出来る様に支援している。	○	現在の支援内容の対応幅の拡大を設け、より良い支援を実施したい。
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア活動の受け入れ、消防・救急訓練や近くの小学校との交流をはかっている。また今年度からは警察の方の運営推進会議参加も出来ている。		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	担当職員を設け、他の機関のケアマネジャーや担当者等と話し合い、相談や支援を得ている。		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的に入居者様の状況報告し、必要に応じて意見をもとめるようしている。		
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様、本人様の希望を優先し、現在も5か所の医療機関に対応して頂いている。また本人様の状況を説明した上で、医師同士の連携もとって頂いている。		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の受診が必要な方に関しては、家族様に相談し、要望を聞きながら専門医への受診・状況報告により治療を受けられるように支援し、本人様が安定した生活を送っていただけるように受診時以外でも必要に応じ、医師との連絡を取っている。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	出来る限り看護師にも申し送りに参加してもらい、日々の状況症状、継続的な状況症状を理解してもらい、判断、指示を受けている。また担当職員、管理者との相談を行い、継続利用に関しての意見も求めている。		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者様が入院された場合、職員がお見舞いに行き家族様・病院関係者から、様子を聞き状況把握・情報交換を行っている。また医療機関担当者からも随時連絡を取り合う関係が築けている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、入所時に終末医療方針についての同意確認印を貰っている。また、担当職員を設け、早期、緊急時の話し合いを設けている。	○	話し合い記録の作成と入所時の説明、同意確認印の継続の実施をする。また、事業所内で、週末期への連携、理解に対する取り組みを強化し意思統一を図りたい。



自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所内で対応できること・できないことの見極めを行い、本人様の状況を伝え家族様の要望を聞き今後の支援の方向性を検討している。また、必要に応じ医師との連絡調整を行い、医師・看護師の意見も聞きながら取り組んでいる。		
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人様が転居される際、または退去される際は出来る限り情報交換を行い、話し合う機会をもち住み替えによるダメージを軽減できるように努めている。また、連携サマリーを作成し対応に大きな変化が生じない様に努めている。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	個々の記録・情報については、他者の目に付かないところに置くように配慮している。日々の業務中での連絡事項や申し送りなどは本人や他者にわからないように申し送るようにしている。		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	業務体制の改善を行い、入居者様と関わりをもてる時間を作ることができ本人の思いや考えをゆっくり聞いたり説明したりできるようになった。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々それぞれの毎日の生活のペースに合わせ、おののに適した生活の提供を実施している。また、業務体制変更以降、業務よりも少しでも多く関わり、より声を聞くことを指導している。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に散髪屋さんが施設に来られたり、行きつけの美容院などを利用されている。服装なども以前から好まれている物を着て頂いている。		
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と一緒に食事の下準備を行うことで、その出来上がった物を食べる楽しみや味を分かち合える。食後の片付けなどもそれぞれの入居者の方々が協力し合って行っている。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	身体面での食事制限や減量が必要な方もおられ難しい部分もあるが、その中での楽しみを得てもらえるように心掛けている。	○	個別でのおやつ提供など実施しているが、身体面や医療面のため、希望されても、提供出来ない方もおられ、個人差が発生してしまう。今後は提供方法の見直しが必要である。
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表の記入を元に個々の排泄状況間隔を理解し、それぞれに応じた排泄介助を行っている。	○	今後もより良い排泄状況を作成するため、研修への参加や勉強会を設けたい。
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の意思や希望に合わせ、それぞれのペースでゆっくり入浴して頂いている。基本的に衛生保持のため二日に一回の入浴ではあるが、本人の希望や体調などで臨機応変に対応している。	○	今後も現在同様に身体低下や認知症状の進行に伴い、現状の入浴実施の継続が困難な可能性があるため、随時業務の見直しを行いたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	基本的には就寝時間を決めておらず、本人様の好きな時間に休んで頂いていますが、認知症症状から落ち着いて眠れない方もおられ医師と相談しながら対応している。	○	認知症状を理解した上で夜間の安眠を確立するための生活習慣作りの作成を行いたい。また、勉強会の開催や研修への参加も行いたい。
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	以前の生活歴から個々に出来そうな役割を促し、出来ることによってやりがいや喜びなどを日々感じて頂けるよう支援している。		
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る入居者様がほとんどおられないが、少しの手持ちのお金をいくらか持っておられる方など数人おられる。	○	事業所内でも本人が選んで購入出来る様、訪問して販売して頂ける様な環境を作成したい。現在はヤクルトの訪問販売のみである。
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の突発的な本人の希望される場所への外出は難しいが家族の協力も得ながら、部分的に外出を行っている。また、本人の希望を聞きつつ、外出先を検討している。		
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	同上		
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の症状により現在は実施が困難であり、また、実施出来そうな方は定期的に家族や知人が面会に来られているため、支援実施の必要性が感じられない。		
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様・知人の方等が面会に来られた際は、居室・食堂・居間等で思い思いに過ごしていただいている。家族様により定期的に面会に来てくださる方も増えてきている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、スタッフが理解できるように説明の場を設けた。また、外部の研修への参加の場を設け取り組みを行った。現在、拘束は行っていないが、言葉かけ等注意する必要がある、今後も気をつけて行きたい。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には、鍵はかけないようにという考えではあるが、現在入居されている方の状況により、事故防止のため鍵をかけざるを得ない状況にもある。日中は、敷地内に自由に動いてもらえるスペースの設置と見守り人員の配置も実施している。		
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ間での声かけ、ユニット間での声かけを行っている。入居者様の状況により、プライバシーの配慮ができない事もあるが、基本的にはプライバシーの配慮を行いつつ、日々の状態把握に努めている。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の入居者様の状態に応じ対応を行っている。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告・ミーティングなどで、個々の状態を把握し防止の方法を検討している。交代勤務であるため、勉強会等の開催が難しい部分もあり、資料等を作成し、目を通せるようにしている。	○	定期的な勉強会の実施を考慮する。
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に一回救命士を招き訓練を行っている。また、休日・夜間帯等看護師と連絡を取れる体制を整え、緊急時の指示が仰げるようにしている。対象者入居中はその方用のマニュアルも作成している。		
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練(日中・夜間想定)の実施。消火器具の取り扱いについて等行っている。また地域の方へも機会があるたびに働きかけている。	○	地震対応の備蓄品と対応マニュアルの作成の実施。また運営推進会議を通して地域の方との連携を図った対応のマニュアルの作成を検討中である。
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時、または訪問時等家族様と話し合う機会を設け、現状で起こりうるリスクの説明を行い、本人様・家族様の要望・希望に沿った形で出来る範囲の対応を考慮・実施している。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 6項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者様の身体的状況などをよく観察し変化等の早期発見に努め、状態情報を記録し速やかに看護師、専属の医師に相談し、早期対応に努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容のファイルを作成し、処方内容を受診ごとに新しい物に差し替え、職員が内容を把握できるようにしている。		
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事メニュー等にも気を配り、乳製品の取り入れ体を動かすことの提供もほぼ毎日行なっている。また個別での対応も実施している。	○	便秘についての予防と改善に向けての勉強会の開催。
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	入居者の状況や能力を理解し各個人にあった口腔ケアを実施している。		
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一部、栄養士が作成したメニューの活用を行なっている。また個々それぞれの身体的な状況に応じた食事提供や水分摂取量の確認を行い介護記録への記入を実施している。		
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルの作成・看護師による感染予防等他の職種を交え予防に取り組んでいる。		
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチンの清掃と調理器具の消毒をし、衛生管理を毎日の業務としている。食材は新鮮なうちに調理している。また栄養士、調理師の指導も実施している。	○	季節にともなった食中毒予防、食品衛生管理の勉強会の開催。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	帰宅願望が強い方もおられ、外部の方の訪問時は基本的にデイサービスの玄関を利用して頂いている。グループホーム側の玄関は入居者が自由で安全に外へ出て頂けるスペースとして利用している。		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、外を眺められる大きな窓があり四季の花を飾る事により季節を感じ取れる。また四季折々の花や飾りを屋内にも飾っている。	○	認知症状の進行から事故防止のため、共同スペースに物が置けない状況ではあるが、出来る限り生活感のある環境を作成したい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	主となる共同スペースのソファや椅子の配置を工夫したり、また、和室の活用や玄関にもソファを配置し独りでも、気の合った者同士でも過ごせる場を作成している。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	認知症状の軽度の方は本人の意向に添って実施し対応しているが、認知症状の進行や妄想、不眠など発生されている方は、家族に相談の上、本人の精神、身体負担を配慮した環境の作成になっている。		
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、起床後に換気を行い。その日の天候や気温等、個々それぞれの快適な温度調節を行っている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 4項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の入居者様の状態に応じ、居室内で安全に過ごして頂けるよう努力している。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	業務体制の見直しから、入居者の傍にいる時間が増え、能力を理解する事が出来、混乱や失敗を予防する事、残存能力を活かす事に日々努めている。		
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭のテラスには椅子やテーブルを配置しました、洗濯物を干すスペースの作成や花に水をあげられる様な環境を作成し日々、活動の場として設けている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

現在、当事業所では多様なニーズに対して出来る限り応えられる様、内部的には業務体制の見直しや適した職員配置、デイサービス、福祉用具、栄養士、看護師との協力、連携を図り入居者と共に楽しめる環境の作成を継続的に実施している。また外部的にも認知症専門の医師との協力、多数の医師との連携、他の介護事業所のケアマネージャー、看護師との連携も図れており今後も強化していく予定である。職員に対しての指導も業務優先や生活の確保やリスク回避のみに捉われず、共に楽しむ事、気持ちを理解し尊重する事を伝えている。家族によっては更に高い希望を持たれている方、現在のサービス内容に満足されていない方もおられると思いますが、今も進行中では有りますが、家族の方々にも入居者の現在の能力や認知症状をより理解してもい、事業所との関係を深くし、家族の側から何が出来るかを見つけてもらい、それを入居者本人に還元出来る事も取り組んでいる。

また、事業所全体としての取り組みとして職員雇用の状況に関しても、年齢的な事、身体的な事、精神的な事、家庭の事、金銭的な事など様々な理由によって離職に繋がる様な職員についての対応も取り組んでおり、適した業務の作成や配置移動など設け、継続して働ける場所の提供を実施している。これも、入居者様や地域への貢献と考え強く取り組んでいます。

今後は介護サービスとしての古き良き所の継続と新しくより良い介護への探求を行い、介護サービスとしての先駆となれる様、職員、家族、地域、医師、他の機関等と深く関わり、意思統一しより良い環境を作成出来ればと思います。



# 評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	1 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	1 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	1 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	2 項目/7項目
－5.	<input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>		
－1.	<input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>		
－1.	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	0 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	2 項目/1項目
－4.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>		
<b>IV－1. その人らしい暮らしの支援</b>		
－1. (1)	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	4 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	1 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	2 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	2 項目/7項目
<b>IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>		
－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	項目/5項目
－2. (2)	<input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 4項目/5項目)について

職員の日々の業務意識の中に理念を浸透させる対応の実施とその理念を基に運営推進会議、地域との交流、家族との関係に反芻し、より良い関係を築ける様に情報提供、助け合い、日々の交流などの環境を強め地域の一部として、家族の一部として理解を持って頂ける事業所作りに努めたいと思います。

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 1項目/2項目)について

業務体制の見直し、作成から入居者様への対応、関わり、理解、関係など基本的には、今までよりも向上出来たと思います。今後の意識見直す点は、家族様の意見や希望、本人様の情報や希望を収集し、還元出来る、対応と環境の強化。また、収集した内容を現場職員に浸透させ、実施していくための教育や理解、意思統一出来る環境、取り組みの実施を強化していきたいと思います。

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 2項目/4項目)について

現在でも内部的、外部的にも連携を取り、より良いサービス提供の実施を試みてはいるが、内部的にはより密な連携をとる様に心掛け、外部的にも今の関係の継続、強化。新しい機関や関係者、協力者との関係構築を取り組み、今後、最重要事項の一つである終末期、重度化対応への環境作成、現場での意思統一を図りたいと思います。

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 4項目/7項目)について

入居者様の希望を反映出来る、環境作りとそれに対応出来るための柔軟性を現場職員に伝え、理解してもらう。排泄、入浴などの日常生活の中での個々の気持ちを聞き入れる事、実施出来る事と嗜好の支援、自身で希望の物を購入出来る、自己決定を尊重した環境の強化を図りたいと思います。また、それに、伴い、入居者様の生活を脅かす要因になる事項について(食品衛生管理、災害対策、事故、など)の勉強会の実施を強化したいと思います。

### V サービスの成果に関する項目について

現在、認知症状の高い方、身体低下されている方、疾患の症状が重い方、認知症状が軽度な方と混在して入居されている為、部分的に施設の実施もしておりますが、この状況を容認する訳では無く、少しずつでも改善して取り組んでいくつもりである。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 年 月 日

前回評価年月日： 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
I-2 2		普段から職員の目に触れる環境を作り、理念に対しての意識向上を図りそれを念頭にサービス提供へ取り組む。	H21年8月～	経営会議に企画を出し同意を獲得する。以降具体的な実施に向けて取り組む。		
I-2 4.8		運営推進会議や地域交流を活用し関係の強化とサービス向上を図る。	H21年7月～	年間内部行事の作成と二か月に一度の運営推進会議の開催を目標とし、家族様の参加も家族会時に促しをかける。		
I-4 14.1 5		家族様へ入居者様の写真提供や家族会定期開催を図り信頼の強化とサービス向上を図る。	H21年9月～	グループホームの広報誌と入居者様の写真送付の定期作成に取り組む。		
II-2 27		共に支え合う関係を構築するため、認知症の理解向上や入居者の出来る事を探究する。	H21年8月～	職員教育への取り組みの作成と業務内容の継続的見直しの実施。		
III-3 39		現在も事業所内部での多機能性を活かした支援を実施しているが、今後も柔軟性、内容充実を図りたい。	H21年8月～	各担当の業務把握と連携職員の配置を実施する。		
III-4 47		重度化や終末期への取り組みを実施しているが、内容の強化を図りたい。	H21年8月～	外部への連携と家族様との信頼の強化。職員の意思統一へ向けての勉強会の取り組み。		
IV-1 55・56 57・58 60・69 75・79		基本的な生活の支援の向上と個別対応の充実を図りたい。	H21年11月～	各内容の勉強会の実施と外部への協力者の獲得へ働きかける。		
IV-2 81		現在、入居者様の症状から生活感、季節感といった環境よりも事故予防への環境が主となっているが継続的に見直しを行いたい。	H21年8月～	入居者様の軽度化へ向けての取り組みとそれに伴った、生活空間の見直しの実施。		